

『ARIA 的ヴェネツィアの歩き方』をお手にとって頂きありがとうございます。この本は ARIA ファンのためのヴェネツィア観光案内本です。通常のガイドブックでは載っていない具体的なヴェネツィアへの行き方、楽しみ方、知っていると便利なこと。また、ARIA 的な場所、ARIA で出てきた場所などもしっかりと掲載したつもりです。個人が編集し、説明するには限界がありますので日本のヴェネツィアのガイドブックと合わせてご覧下さい。そして現地に着いたらすぐにヴェネツィアの大きな地図を購入して地図を見ながらヴェネツィアの街を体験してください。いや、もしかしたら地図はいらないかもしれないです。迷宮都市ヴェネツィアは文字通り地図が意味を成さず、すぐに迷ってしまうのですが、それが非常に心地よい幸せな気分になれるのです。というものヴェネツィアには細い道がたくさんであり、細い運河が縦横無尽に走り、そこを歩くといつの間にかカーブを曲がって方向感覚を失ってしまいます。



カーブしている細い道。方向感覚が失われます

そして細かすぎる道ばかりで地図は全く役に立ちませんが、街中いたる所に看板がたくさんありそれを元に歩くことが出来れば目的地に行くことも可能です。このようなコツもみなさんに伝えることができればうれしいです。

迷宮都市ヴェネツィアは人口の島です。ラグーナと呼ばれる潟（海岸の湖沼）にヴェネツィアの人々は島を作り、生活を始めました。建物を建てるためには柔らかい地盤のさらに下の硬い層に非常に多くの杭を打ち込み、そこに石の基礎を築いてレンガで壁を作り上げ、そこ

に建物を築きました。このような構造にもなっていたためヴェネツィアは「浮き島」とも呼ばれています。人工の島なのに人工的ではなくなぜかとても心地よくなってしまう不思議な街、この素晴らしいヴェネツィアに



行くための計画、モデルプラン、空港からヴェネツィアまでの行き方、ヴェネツィアに着いたらやっておきたいこと、カフェでの休み方、BARと呼ばれる屋はカフェ夜は飲み屋というお店での注文の仕方。ゴンドラの乗り方、トラゲットの乗り方と営業時間、スーパーで買ったほうが良いもの、市場で買ってすぐに食べられるもの、地酒のような樽から量り売りのワイン、嫌いだっ人も食べられる生ハム…書きたいことをいろいろ書いてみました。そして足りないところばかりにもなっていると思います。それは是非ともみなさんで感じたヴェネツィアで補ってください。

写真：水面から直接建っているような構造です

ご注意

この本は筆者がヴェネツィアで体験したこと、調べたことを元にして書いています。思い込み、勘違い、語学力の問題での間違いなど多々あるかと思しますのであらかじめご承知置きください。また、日本で売っているガイドブック、ネットでのヴェネツィアの情報などと一緒に読んでいただけるとより解りやすいと思います。この本の情報を元に行動した一切の損害に関しての責を負うことはできませんが、幸せの達人さんはきっと新しく素晴らしい体験が得られると信じています。



写真(上) 大鐘楼から
見たサン・マルコ広場。
(左) 大鐘楼の外観です。

目次

- 05 まえがき

- 10 ヴェネツィア内の交通機関
 - 12 ヴァポレット
 - 15 トラゲット

- 20 みどころ
 - 21 サン・マルコ広場
 - 23 カフェ・フロリアン
 - 25 大鐘楼
 - 28 ゴンドラ乗場
 - 31 サン・マルコ小広場
 - 33 溜息の橋・ホテルダニエリ

 - 39 サンタ・ルチア駅
 - 43 リアルト橋
 - 49 郵便局
 - 51 サン・ミケーレ島
 - 55 ムラーノ島
 - 59 レデントーレ教会
 - 61 長靴カッレ、殺人カッレ、喜劇カッレ
 - 65 コミックス6巻表紙
 - 69 イラストにあったところ
 - 72 希望の丘 ブラーノ島
 - 73 コンタリーニ・デル・ポーヴォロ階段
 - 75 ヴェネツィアのネコ

77 井戸

78 AQUA は貴重品？

82 ヴェネツィアを楽しむお薦め方法

84 アリス的ヴェネツィア散歩お薦めコース

91 それは ごく 普通の 冬の日の火曜日

95 朝昼晩 ヴェネツィアの顔

106 寄稿

117 あとがき

118 参考文献

120 奥付



ヴェネツィア内の交通機関

